

愛の血液助け合い運動、今年もはじまります!

7月1日～31日
愛の血液
助け合い運動

「愛の血液助け合い運動」は厚生労働省、各都道府県、日本赤十字社の主催で7月1日～31日の1ヶ月間、全国で展開します。毎年、夏には長期休暇などで学校や企業、団体などからの協力が得にくくなり、一時的に献血者が減少することがあります。しかし輸血用の血液は、年間を通して確保することが大切です。

ご存知ですか? 献血の基準

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし献血者の健康を守り、また輸血を受ける患者さんの安全性を高めるため、様々な基準が設けられています。

詳しくは日本赤十字社のホームページをご覧ください。
<http://www.jrc.or.jp/donation/terms/>

献血の種類いろいろ

- 全血献血(400mL、200mL)…血液中の全ての成分を献血していただく方法。
- 成分献血…血小板や血漿など特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法。身体への負担も軽く、多くの血漿や血小板を献血できるのが特長。

検査サービスについて

生化学検査では7項目、血球計数検査では8項目について検査し、希望された方に結果をハガキでお知らせしています。



献血制限の緩和措置のお知らせ

平成22年1月27日より、1980～1996年の英国滞在歴が通算30日以下であれば、献血にご協力いただくことが可能となりました。詳しくは血液センターまでお問い合わせください。

1 受付

はじめに手渡される「お願い!」パンフレットを読んで、内容をしっかり理解したら受付へ。献血カードを持っている方は受付スタッフに提示し、暗証番号を入力。カードを持っていない時、または初めての方は氏名・生年月日を記入し、本人確認できる身分証明書を提示して下さい。

「自分が納得してからの受付だから、安心!」



2 問診票記入

献血する側の安全と、患者さんが安心して輸血を受けられるよう、献血を申し込みの際は健康状態を問診票に記入。県内の献血ルームでは、タッチパネル方式を導入しているので、ラクラク。

「自分自身の健康チェックにもなるね」



3 問診

医師による問診と血圧チェック。個室なのでプライバシーも厳守。わからないことは質問できます。体調がすぐれない方などは献血をご遠慮いただくこともあります。

「私の身体にムリがないよう確認してくれるんだ」



4 血液検査

さらに貧血の心配がないか、ヘモグロビン濃度の測定と血液型を事前判定。成分献血の場合は、血小板数の測定も行います。

「自分の血液の状態を知って大事だね」



5 献血

ゆったりしたリクライニングの採血ベッドに横になり、リラックスして採血スタート。スタッフが緊張をほぐしてくれるので、心配ご無用。全血献血では10～15分程度、成分献血では採血量に応じて40～90分程度かかります。

「やさしい看護師さんが針を刺してくれるから安心!」



8 献血後

献血にご協力いただいた方への感謝の気持ちとして、7項目の生化学検査成績と8項目の血球計数検査成績を、希望された方に親展ハガキにてお送りしています。



7 献血カード

最後に、今回の献血記録と次回の献血可能日を印字した献血カードを受け取って献血完了。カードには緊急時の連絡先も記載され、次回以降の献血時に本人確認として使用するの、失くさないようにして下さい。

「次はいつ来ようかな?」



6 休憩

お疲れ様でした! 採血後は、休憩スペースでドリンクを飲みながら、少なくとも10分以上の休憩を。トイレに行くのはなるべく十分に休んでから。

「なんだか達成感! 選べるドリンクもうれしい!」



平成25年度 ポイントキャンペーンのお知らせ

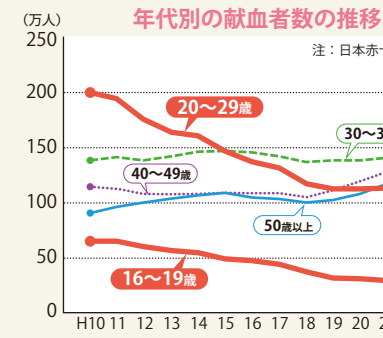
県内6カ所の献血ルームでは、昨年に引き続きポイントキャンペーンを実施。ご協力いただいた献血の種類などにあわせてポイントを加算、6ポイントごとに記念品がもらえます。(平成26年3月31日まで)今年「チャレンジ成分カード」と「献血ルームに行こう!カード」を配布。このカードの持参で、献血時のポイントがさらにUP! 詳しくは各献血ルーム窓口にお問い合わせ下さい。

400mL献血・成分献血のお願い

人間の血液は、同じ血液型でも1人ひとり微妙に違います。そのため複数の献血者の血液をあわせて1人の患者さんに輸血するほど、副作用発生の可能性が高くなります。400mL献血と成分献血は、200mL献血に比べて少ない献血者からの輸血を可能にし、安全性を向上させる献血方法。献血者の意志を最優先し、体調を慎重に確認した上で、400mL献血と成分献血のご協力をお願いします。

STOP! 若者の“献血離れ”

平成14年からの10年間で、10～20代の献血者数は約40%も減少しました。現在日本では病気やケガなどで、毎日約3,000人の方が輸血用血液製剤を使用しており、そのうち約85%は50歳以上の方々に使用されています。一方、献血にご協力いただいている方の約80%は50歳未満の方で、輸血医療を大きく支えています。



日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液需要の増加が見込まれている将来の安定供給に支障をきたす恐れがあります。輸血用血液製剤の有効期限は、赤血球製剤で21日間、血小板製剤では4日間と長期に保存することができませんので、医療機関に安定的に血液を供給するためにはこれまで以上に、若者を含めた皆さまからの献血へのご協力が必要となっています。

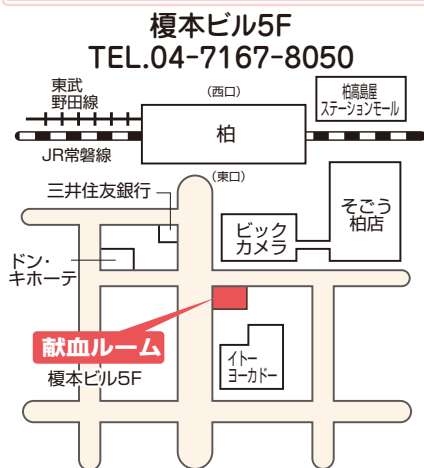
「複数回献血くらぶ」とは?

「複数回献血くらぶ」は、安全な血液の安定確保のため運営され、年間複数回、400mL・成分献血にご協力いただける方を募集しています。登録者には、血液センターからキャンペーン情報などのメールをお届けするほか、献血履歴と検査成績を携帯電話(右記QRコード)・パソコンでいつでも閲覧できるなど、さまざまな会員特典があります。「複数回献血くらぶ」は、千葉県赤十字血液センターにおける「複数回献血クラブ」の愛称です。



献血ルームのご案内

柏献血ルーム



全血受付 10:00～13:00
成分受付 10:00～12:00
14:00～17:30 14:00～17:00

定休日 年末年始

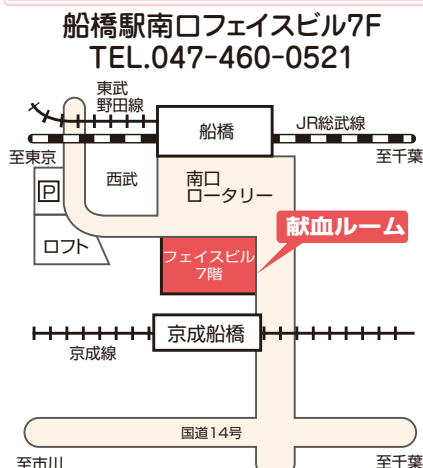
松戸献血ルーム



全血受付 10:00～13:00
成分受付 10:00～12:00
14:00～17:30 14:00～17:00

定休日 年末年始

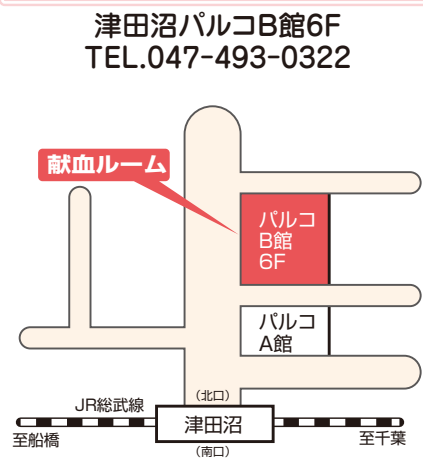
献血ルームフェイス



全血受付 10:00～13:00
成分受付 10:00～12:00
14:00～17:30 14:00～17:00

定休日 年末年始

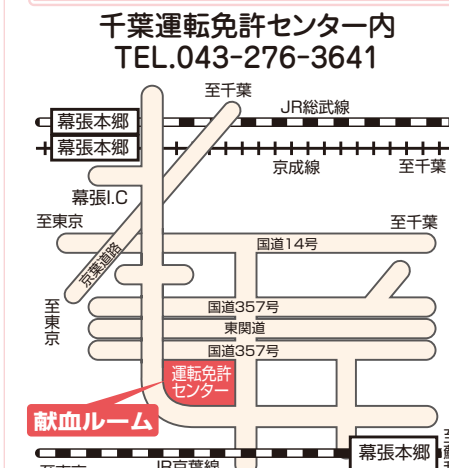
津田沼献血ルーム



全血受付 10:00～13:00
成分受付 10:00～12:00
14:00～17:30 14:00～17:00

定休日 年末年始、津田沼パルク休館日

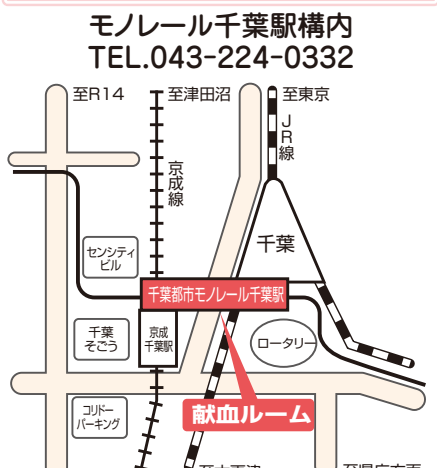
運転免許センター献血ルーム



全血受付 9:00～13:00
成分受付 14:00～16:30
※日曜日午後は16:10まで

定休日 毎週土曜日、祝日、12月29日～1月3日

モノレールちば駅献血ルーム



全血受付 10:00～13:00
成分受付 10:00～12:00
14:00～17:30 14:00～17:00

定休日 年末年始

